

形成外科初期研修カリキュラム
カリキュラム責任者：林 いづみ

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

形成外科疾患の基本的知識および技術を学ぶ。同時に、医師として最低限必要な基本的な知識、技能を修得し、医療チームの一員としての人格を学ぶ。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

SB0-1

形成外科患者の評価・処置に関する知識を持つ（認知）に習得すべき項目

- ・ 各種画像検査の適応の判断、その結果の評価ができる。
- ・ 顔面・四肢の外傷患者の創部の評価ができる。
- ・ 褥瘡・難治性潰瘍患者の創部の評価ができる。
- ・ 感染創に適切な検査を行ない、その評価ができる。
- ・ 皮膚良性腫瘍・軟部良性腫瘍について評価し、治療方針が決定できる。

SB0-2

形成外科の患者に対する際の基本姿勢を身につける

- ・ 指導医、専門医への紹介の必要性が判断できる。
- ・ 医療スタッフとの協調性を持つ。

SB0-3

外傷患者・皮膚潰瘍患者に対する処置を行なうことができる（技能）

- ・ 処置を行なう際の器械の準備ができ、防護服の着用ができる。
- ・ バイタルサインを取れる。意識状態の所見が取れる。
- ・ 末梢ルートの確保ができる。
- ・ 局所麻酔・伝達麻酔の薬剤を理解し、注射ができる。
- ・ 簡単な皮膚縫合ができる。
- ・ 感染創を扱う際に、院内感染対策が実践できる。
- ・ 創傷被覆材の種類を理解し、その選択・使用ができる。
- ・ 外用薬の種類を理解し、その選択・使用ができる。

<方略 LS: Learning Strategies>

- ・ 外来で、指導医の指導下で創傷処置、縫合処置を実際に行う。
- ・ 病棟で、指導医とともに患者を担当し、カンファレンスではその治療方針、手術方法、後療法に至るまで、プレゼンテーションを行なう。
- ・ 手術室で、担当した患者はもちろんのこと、できる限り多くの手術に参加し、指導医の指導下で形成外科的縫合をはじめとした手術を経験する。
- ・ 形成外科をローテーションする時期によっては、形成外科関連学会に参加し、本人の希望があれば学会発表も行なう。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時						
午前	外来手術	外来	入院手術	外来	外来	
午後	外来手術	術前準備	入院手術	病棟回診	外来処置	
夕方		術前検討				

<研修評価 EV: Evaluation>

泉大津急性期メディカルセンター臨床研修プログラムに則り、PG-EPOC による WEB での評価システムを活用すると同時に、形成外科修了後に、担当した入院患者、特殊患者、手術患者の記録と自己評価を研修指導者に提出、指導医の三段階評価（A:できる、B:なんとかできる、C:できない）を受ける。